

組織強化「60・3」を阻止はめ

1/19 館山支部定期大会



支部体制の更なる強化と団結で、「60・3」をむかえうと！

動労千葉

84. 12. 3

No. 1807

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

11月19日、館山支部第八回定期大会は、組合員98名中54名におよぶ多数の参加と、本部・水野副委員長、労金、全労済の来賓を迎え、13時より講習室において開催された。

笹生支部長が決意を表明

大会は、富川副支部長の開会宣言に始まり、議長に後藤乗務員分科副会長を選出して進められた。冒頭、笹生支部長があいさつに立ち、「『三本柱』『60・3』『分割・民営化』等の攻撃が矢継早にかけられ、厳しい情勢にあるが、館山支部一人ひとりの組合員が現状をよく見極めて、さらに組織強化をはかり、これらを阻止していこう」と決意を述べた。

労金支店長代理のあいさつにつづき、本部・水野副委員長が立ち、最初にこの間の諸闘争における館山支部の動員に対してお礼を述べた後、「政府・国鉄当局は赤字を理由に『三本柱』の一方的首切りにつづき、『60・3』等の合理化攻撃をかけてきている。これこそ国鉄労働運動解体を意図するものである。

また、国鉄当局の先兵になりさがった動労『本部』革マルを追放していくために、今こそ労働者が団結し、すべての闘いに総結集していかなければならない」とあいさつした。

組合員が総結集して闘う

つづいてスローガン提起、経過報告、決算報告、方針案、予算案が提案され、質疑応答においては活発な質問が出された。

- ① 「60・3ダイ改」の具体的な提案と闘いについて。また「60・3」以降はどうなるのか。
- ② 雇用安定協約の「破棄」と今後の闘いについて。
- ③ 「過員」対策についてはどうなっているか。
- ④ 運転管理主任の問題について。

討議の結果、組合員一人ひとりがさらに意識を高め、総結集して闘いぬくことを全員で意志統一し、闘う方針を決定した。

最後に笹生支部長の音頭で団結ガンバローを三唱し、三時間にわたる大会を終了した。

●当面するスケジュール（12月前半）

- 4日 第5回検修対策委員会（10時、動力車会館）
- 5日 第21回「組合費」公判（10時、東京地裁）
- 6日 乗務員分科第2回拡大常任委（10時、動力車会館）
- 8日 動労千葉第10回定期委員会（10時、労福センター）
- 10日 第5回「6・12」控訴審（11時30分、東京高裁）
- 15日 第9回動労千葉労働学校（13時、動力車会館）

好評をいただいた
1985 CALENDAR
思い出の蒸気機関車
受付中！
（市価 2,000 円のもの）
大特価 1,300 円にて

カナメ商事の産地直送
御歳暮に「新のり」をどうぞ
御年賀に「新のり」をどうぞ
おいしい
中々受けて
価格

	5 帖 入	10 帖 入
1	1,800 円	3,600 円
2	1,600 円	3,200 円
3	1,400 円	2,800 円
4	1,200 円	2,400 円

※ 御贈答用、保存用の「罐」（10帖入）を1ヶ300円にてあっせん致します。

カナメ商事